

# 英文読解講座 (8)



## ⑦ Topic Sentence の発見 (抽象と具体)

LV	Check 項目	語彙	入試英語読解のレベル	必要な訓練
0	7~8 語であれば英文の意味を日本語に置き換えて理解出来る。	~1200	日常会話文読解レベル	基礎文法の Pattern Practice 英和辞典の活用
1	2 行~3 行の長い英文であっても、1 文ずつであれば、構造を正しく分析・理解し英文の意味を日本語に置き換えて理解出来る。	和訳読解レベル (⇒ スラッシュ・リーディング)		体系的英文法の知識習得と運用訓練 S V の識別の基礎構文理解訓練 文脈にあった辞書の語義の選択 (入試和訳では日本語力の向上も)
		~3500	センター~MARCH (人文)	
		5000~	難関私大・国立	
2	各段落の Topic Sentence を意識しながら読み、大意が把握出来る。	パラグラフ・リーディング レベル		Slash Reading・Phrase Reading ディスコース・マーカーの学習 英文の6つの論理の学習 パラグラフ・リーディングの訓練 内容真偽問題による Scanning 訓練 指示語・内容語に関する訓練 頻出 Topic の背景知識学習
		~3500	センター~MARCH (人文)	
		5000~	難関私大・国立	
3	論理的思考力を必要とする英文の読解が出来る。	ロジカル・リーディング レベル		段落整序問題による論理訓練 要約問題による論理訓練 志望学部の入門レベルの背景知識学習
		5000~	難関私大・国立	
4	書かれている文章について自分の視点から批評的な読みが出来る。	クリティカル・リーディング レベル		自由英作文による自己表現訓練 背景知識や関連情報処理能力向上 ディベートによる論理矛盾発見訓練

<例題①>

「抽象」と「具体」【A たとえば B:A>B】【A すなわち B:具体<抽象】

□ **Topic Sentence を指摘しなさい。**

- ① Cellular phones are very convenient, ② **but** it is important to use them with good manners. ③ **For example**, people should not use cellular phones on trains, in libraries, and in other public places.
- ④ Using a cellular phone is very dangerous when you are driving.
- ⑤ Cellular phones are useful, ⑥ **but** we need to be careful with them.

<例題②>

「抽象」と「具体」【A たとえば B: A>B】【A すなわち B: 具体<抽象】

□ A～D を意味の通る順番に並べ変え **Topic Sentence** を答えなさい。 (金沢学院大・改)

- A. **Most Japanese banks** have open counters with no partitions between customers and bank clerks.
- B. **In Britain** there is always a pane of unbreakable glass between the customers and tellers.
- C. One of *the first* differences you notice between **western and Japanese banks** is the lack of security in banks **in Japan**.
- D. Sometimes *this* makes communication more difficult, but banks put security first.

\* bank clerks 銀行員 a pane of glass 一枚のガラス tellers 窓口係 security 安全性

<例題③>

「抽象」と「具体」 & 「逆接」【AしかしB:A<B】

- A～E を意味の通る順番に並べ変え Topic Sentence を答えなさい。 (大阪学院大・改)

- A. **Then** we are told that some alcohol may be good for us.
- B. Sometimes, **however**, the reports give conflicting views.
- C. Recently, the news media have given us all sorts of health advice.
- D. **This** is so confusing that we hardly know what to do.
- E. **For example**, first we are told to stop drinking alcohol.

\* conflicting 相矛盾する

<例題④>

「原因・理由」と「結果」 【A ゆえに B】 / 【B なぜなら A】 : A < B & 【A のばあい B】 : A < B

- A～C を意味の通る順番に並べ変え、全体の Topic Sentence を答えなさい。 (清泉女子大・改)

Suppose the post office increases the charge for the mail service. 【X】

- A. Because of the increased charges, *fewer* people will send letters or parcels, and the post office may lose money.
- B. Then *fewer and fewer* people will use the mail service.
- C. *This* may result in a *further* increase in postal charges.

This is an example of a situation where a remedial action makes matters worse. 【Y】

The term ‘vicious circle’ is used for *this* kind of chain reaction which leads to disaster. 【Z】

<原稿>

<例題③>

「抽象」と「具体」【A たとえば B: A>B】【A すなわち B: 具体<抽象】

■ Topic Sentence を指摘しなさい。

Cellular phones are very convenient, **but** it is important to use them with good manners. **For example**, people should not use cellular phones on trains, in libraries, and in other public places. Using a cellular phone is very dangerous when you are driving. Cellular phones are useful, **but** we need to be careful with them.

【解法】

簡単に全体をまとめてしまうと

A **しかし** B **たとえば** CそしてD すなわち A'**しかし**B'

となり、CとDは具体ですから、**A<B (抽象)>** **C=D (具体)** < **A'<B' (抽象)** という構図が見えるはずですが。

Topic Sentence はB となりますが、最後のB'も同じことを言い換えていますので、2つあるパターンと考えてもOKです。

<例題④>

「抽象」と「具体」【AたとえばB:A>B】【AすなわちB:具体<抽象】

■ A～D を意味の通る順番に並べ変え Topic Sentence を答えなさい。 (金沢学院大・改)

- A. Most Japanese banks have open counters with no partitions between customers and bank clerks.
- B. In Britain there is always a pane of unbreakable glass between the customers and tellers.
- C. One of *the first* differences you notice between western and Japanese banks is the lack of security in banks in Japan.
- D. Sometimes *this* makes communication more difficult, but banks put security first.

\* bank clerks 銀行員 a pane of glass 一枚のガラス tellers 窓口係 security 安全性

【解法】

センター試験で定番の論理に関する問題ですが、最近では東大や私大の入試でも増えてきた問題形式ですね。この問題が試している能力も結局は「論理に基づき Topic Sentence と Supporting Sentence を判別出来るか？」というものです。簡単な問題なので感性で解いても解ける人は多いでしょうが、東大クラスの段落整序ではそう簡単にはいきませんし、ここでは Topic Sentence の発見能力としての「論理的思考力」を訓練するために紹介した問題なので、感性でなくあくまで「論理」に注目して問題を考えていきましょう。

□で囲った箇所から分かるように、日本とイギリスの銀行についてのお話です。A～D 全てに目を通してみましょう。「抽象」と「具体」という観点から考えると、「日本の銀行だけ」「イギリスの銀行だけ」の記述は当然「具体」になりますね。すると(A)=日本 (B)=イギリス (D)=イギリス (this の指示内容から) となりますから、「抽象」=C (日本と西洋の銀行の違い=セキュリティーに対する意識=日本は低い) となります。(C) も最後に in Japan とありますから日本の話になっていますが、イギリスではなく西洋と表現していることから、イギリス=具体・西洋=一般(抽象) ですので、C⇒A⇒B⇒D となり Topic Sentence は C となりますね。

<例題⑤>

「抽象」と「具体」 & 「逆接」【A しかし B : A<B】

■ A～E を意味の通る順番に並べ変え Topic Sentence を答えなさい。 (大阪学院大・改)

- A. **Then** we are told that some alcohol may be good for us.
- B. Sometimes, **however**, the reports give conflicting views.
- C. Recently, the news media have given us all sorts of health advice.
- D. **This** is so confusing that we hardly know what to do.
- E. **For example**, first we are told to stop drinking alcohol.

\* conflicting 相矛盾する

【解法】

まず注目すべきは選択肢 B と E です。B には **however** という逆接の語があります。Topic Sentence になる確率が高いですが、慌ててはいけません。仮に逆接の表現があっても A たとえば {B しかし C} という図式なら B<C であっても A>B>C となりますからね。E には「例えばアルコールをやめろと言われる」とありますが、これが C に出てくる **advice** の具体例である点に注目しましょう。C=抽象 E=例が見えれば、A も「アルコールが体によい」という具体例だと分かるはず。

C たとえば (E+A) の関係が見えたら残った B と D についても考察してみましょう。B は **the reports** とあります。何のレポートでしょう？**the** がつく情報は読み手も分っていることを筆者が前提としていますから旧情報です。「そのレポート」とは何を指すか？A～E に目を通すと、C のマスコミが私たちに健康に関するアドバイスを与える（報道する）とありますから、この内容を指していることが分かります。

また、D に登場する **This** は「あまりに相矛盾するために私たちがどうしたらいいのかわからなくなってしまう」の主語に当たるものです。**This** が指す内容は「①直前の語・句 ②直前の文の内容 ③直後の内容（特殊用法）」ですが、まず考えられるのは、(C) **all sorts of health advice**。しかし、C⇒D と置いてしまうと、「マスコミが健康についていろんなアドバイスする。⇒ これがあまりに相矛盾していてどうしたらいいかわからない」という展開になってしまいます。⇒の箇所に逆接の接続詞があればまだよいのですが、**conflicting** というのはあくまで「2者間の相矛盾」である点に注目しましょう。

とりあえず(D)は放っておいて、残りの4つを考えると

C **しかし** B **たとえば** E **そして** A

が見えましたか？では(D)はどこに入るのでしょう？矛盾するのはEとAの内容ですね？よってE（アルコールはやめろ！）、A（アルコールは体にいいぞ！）となりますから、**EそしてA**の結果 **D=conflict** が起こるということでDは最後に入ります。全体構造から明らかなように、Topic Sentence はBですね。

<例題⑥>

「原因・理由」と「結果」 【A ゆえに B】 / 【B なぜなら A】 : A<B & 【A のばあい B】 : A<B

- A~C を意味の通る順番に並べ変え、全体の Topic Sentence を答えなさい。 (清泉女子大・改)

Suppose the post office increases the charge for the mail service. 【X】

- A. Because of the increased charges, fewer people will send letters or parcels, and the post office may lose money.  
B. Then fewer and fewer people will use the mail service.  
C. This may result in a further increase in postal charges.

This is an example of a situation where a remedial action makes matters worse. 【Y】

The term 'vicious circle' is used for this kind of chain reaction which leads to disaster. 【Z】

\* vicious circle 悪循環

【解法】

最初と最後が与えられているタイプの問題でセンター試験でもお馴染みの問題です。

Discourse Marker がたくさん使われているために論理は比較的分かりやすいでしょう。まず、選択肢以外の英文にも 【X】 【Y】 【Z】 と記号をつけました。

【X】の Suppose + 文 を見て条件だと分からなかった人はLV1に戻りましょう！文法の基礎知識が抜けています。最後の【Y】の文には This is an example of Y という表現があります。もちろん注目すべきは example という語ですね。「これはYの例である」とあるわけですから、

{ 【X】 (A/B/C) ⇒ これ (X,A,B,C) は 【Y】 の例だ

という形なので、すぐに「(XABC)=例だから全て Topic Sentence の候補にはならない」と気付かないといけません。とすると、Topic Sentence は【Y】か【Z】になります。難しいところですが、【Y】が(XABC)を例としてまとめた後に、【Y>(XABC)】のような chain reaction を表わすのが vicious circle だとさらにまとめてますから、Topic Sentence は最後の【Z】となります。

さて問題ですが、最初から見ていきましょう。「【X】のばあい」に続くのは何でしょう？

Discourse Marker 以外にも fewer と fewer and fewer などヒントは沢山ありますから、理解しやすいはずです。

【X】 = 郵便局が値上げした場合 ⇒ a = 値上げゆえに A = 利用者減ゆえに aa = 郵便局収益減ゆえに (その結果) C = さらなる値上げの場合 B = 利用者さらに減

よって、論理から  $X < a < A < aa < C < B$  となり、XABC のグループでは B が一番重要ということになりますが、XABC のグループはすべて例ですから、Topic Sentence に該当するものではありません。論理が見えましたか？